

東京外国為替市場委員会 第 280 回会合 議事録

開催日時 2025 年 4 月 16 日
場 所 日本銀行
議 長 井上 吉康
副 議 長 大澤 孝元
副 議 長 小橋 暁史
書 記 桜 健一
出 席 者 24 名

I. 委員交代の件

井上議長より、鈴木委員と田中委員が退任となった旨が報告されました。また、田口氏と時田氏からそれぞれ委員に立候補する意思が示され、いずれも全会一致で了承されました。

II. ファンド為替 PVP 化 PT の最終報告書について

大熊委員より、3 月 17 日に開催されたファンド為替 PVP 化プロジェクトチームの会合において、活動実績をまとめた最終報告書が承認された旨の報告がありました。また、最終報告書について、英語版の概要資料とともに、4 月 10 日に東京外国為替市場委のホームページ上で公表された旨の報告がありました。

III. 2025 年度 BCP 事業に係る経費について

井上議長より、BCP 小委員会が、BCP 事業に係る運営経費の請求書を 4 月中に各社に送付する予定である旨の報告がありました。また、5 月末を運営経費の納付期限とする方針が説明され、特段異論は示されませんでした。

IV. その他

小橋副議長より、グローバル外為コードの日本語版、および今回コード改定の概要説明資料を東京外国為替市場委のホームページ上で公表した旨の報告がありました。今後は、Code Of Conduct 小委員会にて、コード遵守先に対して再遵守の検討の働きかけを行う方針であることが報告されました。加えて、コード未遵守先に対するコード遵守の働きかけの進め方について、バイサイド小委員会とともに検討を進める旨が説明されました。

平島委員より、本邦の信託ファンドや保険会社、事業会社における PVP 決済の導入状況について紹介があり、保険会社や事業会社の外為決済事務について PVP 決済の導入を普及させる余地がある旨の説明がありました。星野委員より、世界的な議論において、PVP 決済の導入の遅れが問題視されている分野はあるかとの質問があり、平島委員より、人民元をはじめとする非 CLS 決済対象通貨について、決済リスクの削減方法が論点となっている旨の説明がありました。

寺脇委員より、今後の会計監査について、小委員会の委員ないし委員長を担当していない委員を中心に輪番を作成し、その中から年度ごとに担当委員を選出する方針であることが説明され、異論は示されませんでした。星野委員より会計監査の作業内容について質問があり、寺脇委員より、会計監査の具体的な作業内容が説明されたほか、手順書を作成している旨の報告がありました。

以 上

東京外国為替市場委員会委員名簿 (4月16日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○井上 吉康	(モルガンスタンレーMUFG証券)
副議長・Eコマース小委員長	○大澤 孝元	(バークレイズ銀行)
副議長・Code Of Conduct小委員長	○小橋 暁史	(みずほ銀行)
書記	○桜 健一	(日本銀行)
運営・オペレーション小委員長	○寺脇 一紀	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○福田 京子	(オーストラリア・ニューズ・ワークス銀行)
法律・コンプライアンス小委員長	○時田 剛	(三井住友信託銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
市場調査・バイサイド小委員長	○田口 敬之	(三井住友銀行)
	○星野 昭	(シティグループ証券)
	○小林 良平	(JPモルガン・チェース銀行)
	○十時 潤一郎	(上田東短フォレックス)
	○宗川 雄視	(LSEG)
	○平島 圭志	(CLS)
	○大熊 貴之	(野村アセットマネジメント)
	○井上 裕嗣	(BNPパリバ銀行)
	○山崎 照永	(EBSデイトリングリソースジャパン)

<準委員>

	○星 義浩	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○大原 豪	(三菱UFJ銀行)
	○南 英明	(みずほ銀行)
	○由良 啓輔	(バークレイズ銀行)
	○平田 拓也	(三井住友銀行)
	○片岡 賢治朗	(日本銀行)

<オブザーバー>

	松浦 晃弘	(財務省)
--	-------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。